

## わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(9月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

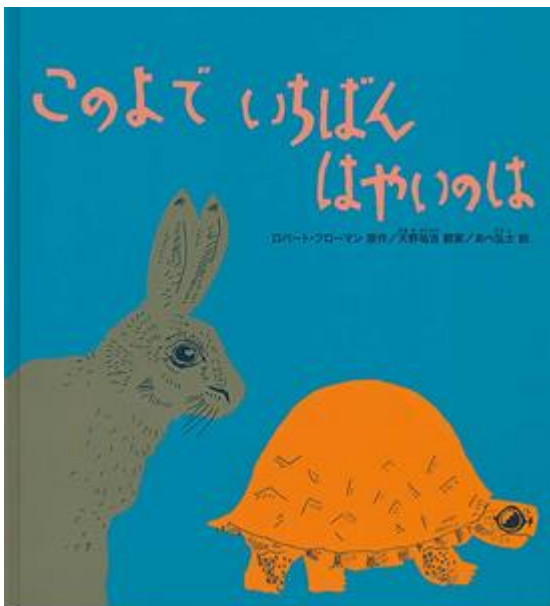
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



# 『このよで いちばん はやいのは』

ロバート・フローマン 原作 / 天野祐吉 翻案 / あべ弘士 絵 / 福音館書店

対象：よんであげるなら：幼児から、自分で読むなら：小学低学年から高齢者



内容のご紹介

読書の秋を迎えます。

今月、ご紹介する絵本は1960年代に発行されたアメリカの作家ロバート・フローマン先生です。

絵は、本町で大変お世話になっているあべ弘士先生です。

日本では、59年前の昭和39年10月1日に東京～大阪間の東海道新幹線が開通し、時速200Km以上ですから当時、驚いたものでした。人類は速さを競ったり、自然からの現象を発見したりして、学んで今があります。

スポーツ競技や移動機器でも速いと、関心を持ちます。

この絵本からは、もっと速いものを伝えます。

読み聞かせ必読の絵本です。必ず子どもたちに感じるものがあります

「このよでいちばんはやいのは」さて何でしょう？カメよりもウサギよりも、チータが速い。海にはチータよりも速い魚がいる、いやもっと速く飛ぶ鳥がいる。鳥より速い新幹線、と色々なものの速さを比べていきます。新幹線より、ジェット機、ジェット機よりゴーンと聞こえるお寺の鐘の音…。そして一番速いのは光？いえいえ、光より速いものがまだあります。意外な答えが、絵本の中で待っています。 <かがく絵本・図鑑>

紹介文 / 福音館書 (矢祭もったいない図書)